

病気を予防し、健康長寿社会の実現に貢献する CBD製品の役割

世界健康長寿学会 創設者
医師 今井 敬喜

人が幸せに生きるためには、まず「健康であること」が第一条件です。

もちろん、人の命には限りがあり、誰も死を免れることは出来ません。しかし、出来るだけ長く健康に生き、健康のまま安楽に死を迎えることが出来れば、その人の一生は幸せであった、と言うことが出来るでしょう。

ですが、一般には健康でいる状態は“当たり前”のこととし、健康でいることに感謝し、その健康を維持しよう（病気を予防しよう）とはなかなか考えられないものです。

だからこそ、病気の予防を意識して生活することが重要なのです。

健康を維持するために、栄養、運動、生活態度等に注意を払うことの重要性は、広く言われています。

さまざまなサプリメントもその一つです。医療費の高い米国でサプリメントが多くの人に普及しているのは、病気になる（病気を予防する）ための自衛策であると言えるでしょう。国民皆健康保険の我が国では病気になることによる経済的負担は、個人的にはそれほど恐怖ではないかも知れません。しかし、国民医療費は間もなく45兆円を超え、国家財政的には、今後、大きな問題になることは目に見えています。

この観点からも、個人が自分の健康に留意し、病気の予防を心がけることは、国家的にも大きな意味があることなのです。

今、病気の予防に大きく寄与することが期待されているサプリメント『CBD』が(株)こころより発売されました。CBDはアサ種子より抽出されるポリフェノールの一種（カンナビノイドと言う）で、欧米では盛んに研究され、多くの疾病の治療に有意であるとの論文が多数出されています。

CBDの研究を行っている、国際カンナビノイド学会は40年ほど前に設立され、様々な研究を行って来ました。その学会発表ではCBDには次の2つの素晴らしい働きがあることがわかってきたと報告されています。

① 脊椎動物の体には「エンドカンナビノイドシステム」という仕組みがあることが発見されました。強いストレスを受けたり老化が進んだり、その他の理由で体内で自然に作られている2AG、及びアナンダミドという内因性カンナビノイドが減少することが様々な病気の原因になっている。

そして麻ポリフェノールであるカンナビノイドの一種、CBDを摂取することで内因性カンナビノイドを補うが出来る。

② 免疫システムのバランスの重要性

免疫が過剰反応するとリウマチ性関節炎、食物アレルギー、ぜんそく等に、また、免疫が低下するとガン細胞の増殖、感染症等にかかりやすくなる。CBDは免疫システムのバランスを回復させますので病気になりにくい体質にする。

CBD製品が広く普及し、多くの人が病気を予防に心がけることは、日本国民1億2000万人の健康長寿社会の実現と、国民医療費削減に多大な貢献になるものと確信しています